臨床医学系

内 科 学 講 座

膠原病・リウマチ内科

著 書

- 1 赤星光輝:サイトメガロウイルス (CMV) 初感染後に一過性の抗リン脂質抗体症候群 (APS) を発症した1例. リウマチ・膠原病 治療薬処方ガイド 199-203, 2024. 南江堂, 東京.
- 2 多田芳史: TNF 阻害薬には、なぜ MTX が必要なの?ほかの bDMARDs には必要ないの?. リウマチ・膠原病 治療薬処方ガイド 238-239, 2024. 南江堂、東京.

原著論文

- Yuri Shirahama, Ayako Kokuzawa, Yusuke Yamauchi, Yohei Kirino, Hideto Nagai, Yasushi Inoue, Toshiyuki Ota, Yutaka Chifu, Hiroki Mitoma, Mitsuteru Akahoshi, Mariko Sakai, Akihito Maruyama, Akihide Ohta, Masahiro Iwamoto and Yoshifumi Tada: Cluster analysis defines four groups of Japanese patients with adult-onset Still's desease, Modern Rheumatology 34(6): 1213-1220, 2024.
- 2 *T Michitsuji, S Fukui, S Morimoto, Y Endo, A Nishino, S Nishihata, Y Tsuji, T Shimizu, M Umeda, R Sumiyoshi, T Koga, N Iwamoto, T Origuchi, Y Ueki, T Yoshitama, N Eiraku, N Matsuoka, A Okada, K Fujikawa, H Ohtsubo, H Takaoka, H Hamada, T Tsuru, M Nawata, Y Arinobu, T Hidaka, Y Tada, A Kawakami, S-Y Kawashiri: Clinical and ultrasound features of difficult-to-treat rheumatoid arthritis: A multicenter RA ultrasound cohort study, Scandinavian Journal of Rheumatology 53: 123-129, 2024.
- Ishikawa Y, Tanaka N, Asano Y, Kodera M, Shirai Y, Akahoshi M, Hasegawa M, Matsushita T, Saito K, Motegi SI, Yoshifuji H, Yoshizaki A, Kohmoto T, Takagi K, Oka A, Kanda M, Tanaka Y, Ito Y, Nakano K, Kasamatsu H, Utsunomiya A, Sekiguchi A, Niiro H, Jinnin M, Makino K, Makino T, Ihn H, Yamamoto M, Suzuki C, Takahashi H, Nishida E, Morita A, Yamamoto T, Fujimoto M, Kondo Y, Goto D, Sumida T, Ayuzawa N, Yanagida H, Horita T, Atsumi T, Endo H, Shima Y, Kumanogoh A, Hirata J, Otomo N, Suetsugu H, Koike Y, Tomizuka K, Yoshino S, Liu X, Ito S, Hikino K, Suzuki A, Momozawa Y, Ikegawa S, Tanaka Y, Ishikawa O, Takehara K, Torii T, Sato S, Okada Y, Mimori T, Matsuda F, Matsuda K, Amariuta T, Imoto I, Matsuo K, Kuwana M, Kawaguchi Y, Ohmura K, Terao C: GWAS for systemic sclerosis identifies six novel susceptibility loci including one in the Fc γ receptor region, Nature Communications 15(1): 319, 2024.

総 説

1 Yoshifumi Tada, Akihito Maruyama, Yuri Shirahama: Still's Disease Onset in Older Adults: Clinical Features, Diagnosis, and Management. Drugs & Aging 41(9): 713-724, 2024, 9.

症例報告

1 小松実樹也,才田正義,前田 翼,堺真梨子,竹山悠希子,丸山暁人,赤星光輝,多田芳史:指尖壊疽をきたした抗 ARS 抗体陽性多発性筋炎の1例. 九州リウマチ 44(1):41-45, 2024.

2 才田正義,小松実樹也,前田 翼,堺真梨子,竹山悠希子,丸山暁人,赤星光輝,多田芳史: SARS-CoV-2ワクチン接種後に発症した食道癌合併抗 TIF1-γ 抗体陽性皮膚筋炎の1 例. 九州リウマチ 44(2):79-84. 2024.

学会発表

国内全国規模の学会

- 1 丸山暁人,小松実樹也,野田亮介,前田 翼,前崎哲宏,堺真梨子,竹山悠希子,白濵裕梨,赤星 光輝,多田芳史:当科における好酸球性多発血管炎性肉芽腫症に対するメポリズマブの使用経験. 第68回日本リウマチ学会総会・学術集会. 2024, 4, 18-20.
- 2 *前田 翼, 丸山暁人, 小松実樹也, 野田亮介, 前崎哲宏, 堺真梨子, 竹山悠希子, 白濵裕梨, 赤星 光輝, 多田芳史: 当院でループス腎炎に対し免疫吸着療法を行った症例の治療成績. 第68回日本リ ウマチ学会総会・学術集会. 2024, 4, 18-20.
- 3 赤星光輝,小松実樹也,野田亮介,前田 翼,前崎哲宏,堺真梨子,竹山悠希子,丸山暁人,多田 芳史:膠原病に伴う間質性肺疾患に対するニンテダニブの治療経験.第68回日本リウマチ学会総 会・学術集会.2024.4.18-20.
- 4 野田亮介, 竹山悠希子, 丸山暁人, 小松実樹也, 前田 翼, 前崎哲宏, 堺真梨子, 白濵裕梨, 赤星 光輝, 多田芳史: リツキシマブ寛解維持療法を行った ANCA 関連血管炎患者の予後に関する検討. 第68回日本リウマチ学会総会・学術集会. 2024, 4, 18-20.
- 5 *住吉玲美,川尻真也,大塚瑞奈,辻 良香,清水俊匡,古賀智裕,岩本直樹,鈴木貴久,植木幸孝,坪井雅彦,日高利彦,高岡宏和,多田芳史,川上 純:エタネルセプト先行品投与中で臨床的寛解または低疾患活動性にある関節リウマチ患者を対象としたエタネルセプトバイオシミラーへの切り替えの有効性に関する多施設共同前向き試験(ESCORT-NGSK Study). 第68回日本リウマチ学会総会・学術集会、2024、4、18-20.
- 6 *小松実樹也,丸山暁人,才田正義,前田 翼,野田亮介,前崎哲宏,堺真梨子,竹山悠希子,白濱裕梨,赤星光輝,多田芳史:短期間に再発を認め,成人発症スチル病と鑑別を要したHTLV-I陽性血球貧食症候群の3例.第68回日本リウマチ学会総会・学術集会.2024,4,18-20.
- 7 *西田知也,小野伸之,綾野雅宏,木本泰孝,三苫弘喜,有信洋二郎,上田尚靖,澤部琢哉,内野愛弓,西坂浩明,井上 靖,西村直矢,吉澤誠司,多田芳史,新納宏昭:ILD合併抗 MDA5抗体陽性皮膚筋炎への早期3剤併用治療の効果と安全性に関する後方視的多施設共同研究.第68回日本リウマチ学会総会・学術集会.2024,4,18-20.
- 8 *小荒田秀一,丸山暁人,小峯豪心,副島幸子,多田芳史:t-SNE 解析を用いた難治性自己免疫疾患の RP105陰性 B 細胞標的療法の新規開発.第68回日本リウマチ学会総会・学術集会.2024,4,18-20.
- 9 *中野翔太, 才田正義, 村上哲晋, 千布 裕:抗 TIF1- y 抗体陽性皮膚筋炎に合併した膀胱クリプトコッカス症の一例. 第68回日本リウマチ学会総会・学術集会. 2024, 4, 18-20.
- 10 *千布 裕, 村上哲晋, 中野翔太, 才田正義: ベリルマブからアニフロルアブに変更後に APTT が延長し抗リン脂質抗体症候群合併が明らかになった SLE の一例. 第68回日本リウマチ学会総会・学術集会. 2024, 4, 18-20.
- 11 多田芳史: 関節リウマチ患者における転倒のリスク因子とその対策. 日本転倒予防学会第11回学術 集会. 2024, 11, 23-24.

地方規模の学会

- 1 小松実樹也,丸山暁人,才田正義,前田 翼,野田亮介,前崎哲宏,堺真梨子,竹山悠希子,白濵裕梨,赤星光輝,多田芳史,田中宏弥:再発性多発軟骨炎に伴う無菌性髄膜炎の1例.第67回九州リウマチ学会、2024、3、2-3、
- 2 丸山暁人,小松実樹也,野田亮介,前田 翼,前崎哲宏,堺真梨子,竹山悠希子,白濵裕梨,赤星 光輝,多田芳史:当科における SLE に対するベリムマブの使用経験.第67回九州リウマチ学会. 2024、3.2-3.
- 3 竹山悠希子, 才田正義, 小峯豪心, 野田亮介, 堺真梨子, 白濵裕梨, 丸山暁人, 赤星光輝, 多田芳史: 当院における ANCA 関連血管炎に対するアバコパンの使用経験. 第68回九州リウマチ学会. 2024, 9, 7-8.
- 4 *甲斐達也,小野伸之,井上 靖,上田尚靖,内野愛弓,澤部琢哉,宮村知也,吉澤誠司,三宅勝久, 西村直矢,綾野雅宏,木本泰孝,堀内孝彦,多田芳史,赤司浩一,新納宏昭:ANCA 関連血管炎 (AAV)の寛解導入療法におけるシクロホスファミドとリツキシマブの比較(第2報). 第68回九 州リウマチ学会, 2024, 9, 7-8.
- 5 野田亮介,竹山悠希子,丸山暁人,才田正義,小峯豪心,堺真梨子,白濵裕梨,赤星光輝,多田芳史:リツキシマブ寛解維持療法を行った ANCA 関連血管炎患者の予後に関する検討. 第68回九州リウマチ学会. 2024, 9, 7-8.
- 6 *小野伸之, 甲斐達也, 井上 靖, 上田尚靖, 宮村知也, 内野愛弓, 吉澤誠司, 澤部琢哉, 大田俊一郎, 千布 裕, 三嶋耕司, 三宅勝久, 木本泰孝, 堀内孝彦, 多田芳史, 新納宏昭: 1年後 GC を中止できた AAV 患者の臨床像についての検討. 第68回九州リウマチ学会. 2024, 9, 7-8.
- 7 丸山暁人,才田正義,小峯豪心,野田亮介,堺真梨子,竹山悠希子,白濵裕梨,赤星光輝,多田芳史:寛解導入後早期にメポリズマブを開始した症例の検討.第68回九州リウマチ学会.2024,9,7-8.
- 8 赤星光輝, 才田正義, 小峯豪心, 野田亮介, 堺真梨子, 竹山悠希子, 白濵裕梨, 丸山暁人, 多田芳史: 関節部出血をきたした全身性エリテマトーデスの一例. 第68回九州リウマチ学会. 2024, 9, 7-8.
- 9 堺真梨子,才田正義,小峯豪心,野田亮介,竹山悠希子,白濵裕梨,丸山暁人,赤星光輝,多田芳史:舌の腫脹と疼痛で口腔外科より紹介となった高齢女性の1例.第68回九州リウマチ学会.2024,9.7-8.
- 10 *前田 翼, 丸山暁人, 小松実樹也, 野田亮介, 前崎哲宏, 堺真梨子, 竹山悠希子, 白濵裕梨, 赤星 光輝, 多田芳史: 当院でループス腎炎に対し免疫吸着療法を行った症例の治療成績. 第68回九州リ ウマチ学会. 2024, 9, 7-8.
- 11 *綾野雅宏, 大田俊一郎, 久志本和郎, 三嶋耕司, 上田尚靖, 中山剛志, 都留智巳, 洲崎みどり, 土井吾郎, 田中 淳, 前川真貴子, 赤星光輝, 河野正太郎, 西村直矢, 新納宏昭:全身性エリテマトーデスに対する生物学的製剤の有用性:ベリムマブ vs アニフロルマブ. 第68回九州リウマチ学会. 2024, 9, 7-8.
- 12 小峯豪心, 才田正義, 野田亮介, 堺真梨子, 竹山悠希子, 丸山暁人, 赤星光輝, 多田芳史:指趾壊死をきたした全身性エリテマトーデスの一例, 第68回九州リウマチ学会, 2024, 9, 7-8.
- 13 才田正義,野田亮介,小峯豪心,堺真梨子,竹山悠希子,丸山晚人,赤星光輝,多田芳史:全身性

エリテマトーデスに合併した HTLV-1関連脊髄症の一例. 第68回九州リウマチ学会. 2024, 9, 7-8.

14 鶴田 透, 堺真梨子, 才田正義, 小峯豪心, 野田亮介, 竹山悠希子, 白濵裕梨, 赤星光輝, 多田芳史: 汎血球減少とともに肝多発結節を伴う医原性免疫不全関連リンパ増殖性疾患を発症した関節リウマチの1例, 第68回九州リウマチ学会, 2024, 9, 7-8.

その他の学会

- 堺真梨子: WoCBA-RA 患者の治療とセルトリズマブペゴルの役割. 佐賀 RA セミナー For HER.
 2024, 1, 10.
- 2 多田芳史: WoCBA RA 患者へのプレコンセプションケアと薬物療法. RA 患者のライフステージ に応じた治療を考える会. 2024, 2, 2.
- 3 多田芳史:関節リウマチの治療戦略:身体機能維持と TNF 阻害療法. 第37回ハイリスクリウマチ 膠原病ネットワークセンター学術講演会. 2024, 2, 14.
- 4 丸山暁人: 膠原病関連間質性肺疾患 (CTD-ILD) をいかに早期発見するか. ILD Short Lecture 2024 In Kyusyu ~専門医がわかりやすく解説~. 2024, 3, 13.
- 5 多田芳史: Thrive Leaders Workshop のこれまでの活動 Beyond T2T (関節破壊と Fatigue). Treat to Thrive 佐賀・長崎. 2024, 3, 18.
- 6 多田芳史:成人スチル病診療における課題とマネジメント. リウマチ・膠原病 WEB セミナー in 九州. 2024. 4. 3.
- 7 多田芳史: 関節リウマチ診療におけるお困りごとチェックシートの妥当性及び有用性の検証. Treat to Thrive Kumamoto. 2024, 5, 24.
- 8 多田芳史: 乾癬性関節炎と体軸性脊椎関節炎における IL-17とビメキズマブ. Immunology Joint Seminar. 2024, 5, 31.
- 9 多田芳史:成人発症スチル病の診療に関するアップデート. 第52回鹿児島膠原病研究会. 2024, 7, 16.
- 10 丸山暁人: 生物学的製剤を用いた SLE の治療戦略. 第68回九州リウマチ学会アフタヌーンセミナー. 2024. 9. 7.
- 11 丸山暁人:乾癬性関節炎など皮膚症状を来す膠原病疾患の診療連携について. Psoriasis Cooperation Seminar. 2024, 9, 12.
- 12 多田芳史:成人発症スチル病における課題とマネジメント. 令和6年度九州・沖縄地区リウマチの 治療とケア教育研修会. 2024, 11, 10.
- 13 丸山暁人: セルトリズマブペゴルの炎症部位集積性を活かした関節リウマチ診療. 関節リウマチ UP TO DATE~TNF 阻害薬を再構築する~. 2024, 11, 13.
- 14 多田芳史: D2TRA にさせない治療戦略と Bricitinib の役割. D2TRA を考えた治療戦略. 2024,11, 19.
- 15 多田芳史: EGPA の現状と課題. GSK EGPA Management Seminar in Saga. 2024, 12, 6.

研究助成等

職名	氏	名	補助金(研究助成) 等の名称	種目	1 : 代表 2 : 分担 該当番号を記入	研 究 課 題 等	交付金額 (千円)
准教授	多田	芳史	中外製薬研究活動支援	研究助成	1	成人発症スチル病(AOSD) におけるクラスター分類の検 証	300
准教授	多田	芳史	科学研究費助成事業	基礎研究(C)	2	t-SNE 法による自己抗体産生 RP105陰性 B 細胞を標的とし た新規治療薬の戦略的開発	200
助教	丸山	暁人	科学研究費助成事業	基礎研究(C)	2	t-SNE 法による自己抗体産生 RP105陰性 B 細胞を標的とし た新規治療薬の戦略的開発	150